

# 北町西小 ことばの教室

令和3年7月学級通信  
練馬区立北町西小学校  
特別支援学級（言語障害通級指導学級）  
TEL/FAX 3932-7631 教室直通



梅雨の時期で不安定な天気の中、暑い日が続いていますが、子どもたちは元気に通級しています。1学期の通級もあと一か月となりました。子どもたちが1学期を気持ちよく締めくくれるよう、ことばの教室でも引き続き感染対策に努め、子どもたちの体調に気を配りながら指導を行っていきます。

## 7月・9月の行事予定

- 7月 6日（火）江北ブロック研究会（午後）  
10日（土）専門家相談（午前）  
12日（月）通級終了  
13日（火）  
14日（水）  
16日（金） } 教育相談（午前）  
19日（月）  
15日（木）言語運営研究会・区入級検討会（午前）  
16日（金）専門家相談（午前）  
20日（火）都難言協専門研究会（午後）



- 9月 2日（木）通級開始  
7日（火）江北ブロック研究会（午後）  
11日（土）言語運営研究会（午前）  
21日（火）都難言協専門研究会（午後）  
28日（火）吃音グループ学習  
30日（木）5校合同専門家相談ケース会議（午後の指導休み）



## もうすぐ夏休みです！



前期の通級が終了し、もうすぐ夏休みが始まります。コロナウイルス感染症により、思うように行動できないことが様々あると思います。そんな中でも、感染対策を十分に行った上で、子どもたちには夏休みにしかできない体験をたくさんしてほしいと思います。休み明け、子どもたちが元気な姿で通級して来るのを楽しみにしています。体調にお気をつけてお過ごしください。

## コラム 『面接』



その女の子と出会ったのは、彼女が年長のときでした。  
お母様の心配は「緘黙」。家庭以外では一切、しゃべらないとのこと。  
実際、私が彼女と唯一交わしたことは、  
「どこから来たの？」  
「ようちえん」  
の一言だけ。あとは何をしゃべりかけても無言でした。  
以来、私は彼女に1度も会ったことがありません。

私たちは、お母様に別の相談機関をご紹介しました。  
ところが、すぐにお母様から「お願いします。どうかことばの教室で相談させてください。」  
と連絡が来たのです。  
理由を聞いて、私は激しい怒りに襲われました。  
その相談員は「お子さんがしゃべらないのは、お母さんが何か心に傷を負わせたので  
しょう。」と告げたというのです。  
お母様は深く傷ついたのでした。

それから、私とお母様の面接が始まりました。面接は月に数度のときもあれば、半年、い  
え1年に1回の時もありました。  
お母様は面接にやってき続けました。  
面接は、私の職場が変わっても続きました。  
そして娘さんは中学生、高校生と成長していきました。

お母様は私に何を求めていたのでしょうか。  
たいしたことを言ってもいない私に。  
「一生、話さない子どもなんて聞いたことないですよ。」  
という脳天気な私に。  
でも今だったら、なんとなく分かります。  
お母様は、おそらく「がんばれ」の励ましがほしかったのではないのです。  
いつまでたっても娘が緘黙であることに、しばしば心が揺れたとき、  
「それでいいよ。大丈夫」  
という"安心感"が必要だったのではないのでしょうか。



最後の面接は、娘さんが大学生になったと報告にきたときです。  
ある日、お母様は娘さんの部屋で、大学のオリエンテーションの紙に「自分の性格」が書  
かれているのを見つけたのです。  
そこには、一言、「内気」と書かれていたそうです。  
私は話しました。  
「お母さん、本人は自分が"内気"と考えている。つまり、もう"緘黙"からは卒業したんだ  
ね。私たちもそろそろ"緘黙"から卒業しようか。」  
お母さんも笑って「そうですね。」と言いました。  
それからお母様は訪ねてくることがなくなりました。  
お母様の"卒業"に13年間はたっていました。

